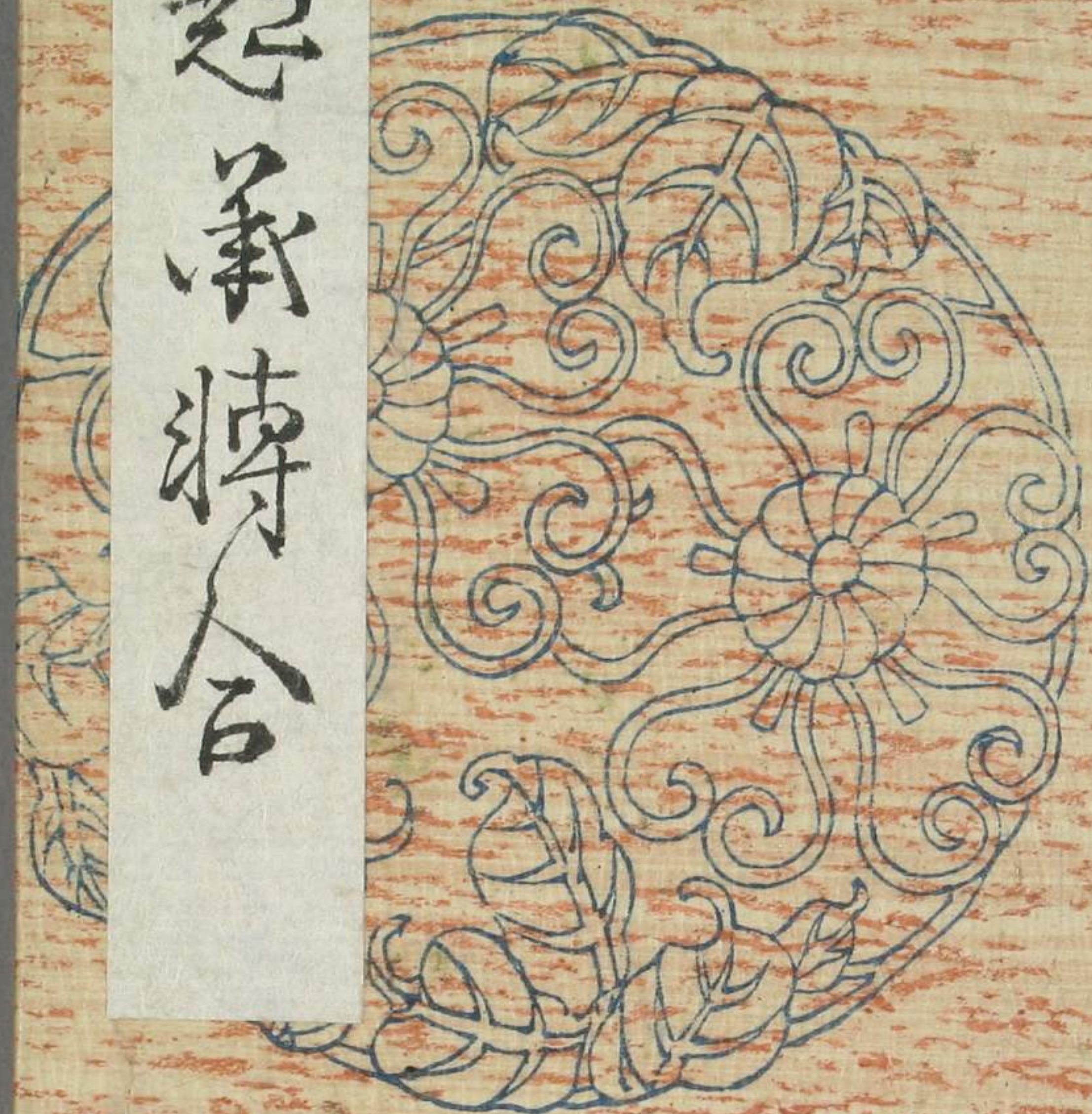
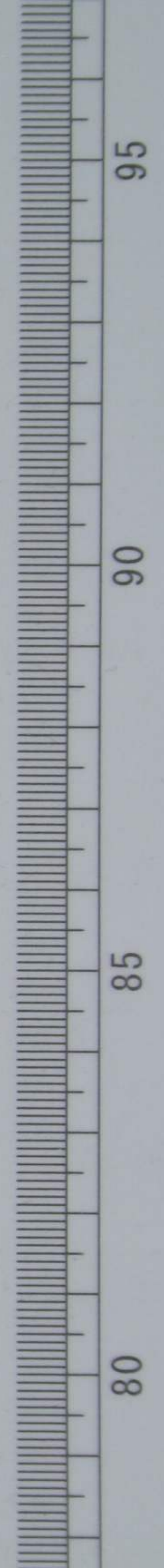


起承轉合



特別
へ13
3633
57



第
二
〇
〇
號

昭和三十三年六月八日
宮川曼魚氏新贈

持

門へ13
號3633
卷57

合



白の序

師範書群



聞説起承轉合と云ふ詩を
 賦の生体なりと。予者禮の
 中の用を賦す。此は生言有
 を思ふ。娼妓使客を扱ふと
 する。子。合。言。た。の。好。ま。ら。何。可。也

考セヨ多タ物モノをシ起キ句クのノて
 互タガヒにニ熟ジュク信シン仇キウ物モノ了リョウ。懐カクのノけ
ガチをシ縣ケンのノあリ。是コノ心シンのノ保ホ句クあり。
ソレ其ソノ附ツキ守シのノ懸ケン心シン志シのノ口ク舌ゼツの上ノ上ノ。
 乃ス断タン標ヒョウハ顔ガン倒タウ特トク句クありて。
 又マタ配ハイ偏ヘンのノ合カ句クあり。各オノ處トコロは

一
 一

淫イン制セイをシ押オシ。淫インのノなハ押オシ。
オト是コノ心シン起キとシ謂イハべシ。雙スウのノ枕マク乃ハ。
ツク對ツク句クのノ毅キ文ブン句クのノ熟ジュク心シン字ジ有アリ。
シ後シ合カのノ森シンとシ育イク言ゴン絶ゼツ句クの
ヒ其ソノ心シン身ミ。起キのノてシ理リ展テン

をりよ。候。敝。者。不。ハ。娼。妓。も。
 理。を。飛。び。世。了。七。之。律。是。
 いろ。ち。と。乃。裁。を。古。ん。よ。
 為。あ。じ。し。赤。平。反。り。夏。有。
 合。白。圈。の。印。ハ。改。也。し。●。黒。圈。
 ハ。二。本。乃。強。き。り。●。不。同。下。

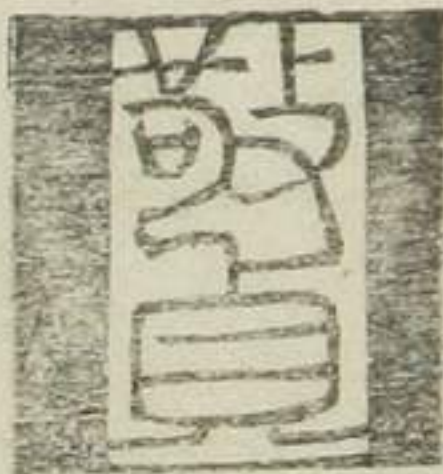
第ニ

二。連。如。家。乃。形。体。為。歌。
 あり。あ。も。一。生。の。連。句。ハ。
 初。蓋。唐。の。依。特。風。晚。唐。の。
 似。心。宋。朝。乃。要。裁。り。世。
 去。下。公。孫。中。子。計。て。淫。を。
 叔。子。を。毛。の。子。使。者。行。ハ。詩。

を能るそのことよびしまごてまご平言まご
ちまごくまご標まご懸まご子命まご了まごるまご皮まご
事多生のまご平まごぶまごふまご入まごたまごらんまご希まごハ
浮まご才まご乃まご大まご通まご先まご生まご也まご。直まごく
息まご割まごをまご能まご紹まごへまご茲まご業まご任まご成まご
了まご益まご分まご吉まご且まご

希ハ

十偏舍一九題



記兩轉合

婉曲歌 集義和書

百花爛案上文献輯紙紈妓女
風流恒如友誘畫圖也

起 杜子美り春江のるがめりうもなぐれち里の
花さうりうは月うつりのさる仇やれ 實

承 木子白くぬの二斗八ねをさるる不碎よ
くるこのあをびの春をさるの無しやれ 人

轉 采天が白やのすうとけりる雪のふるの
いろはけこれよこあひのたを 夏

合 橋潭がたのりけりうりうりうのつじ
とぐのいさぢ客ひひりうさうの直ハ

起承轉合

十偏舎一九賦

○起句

橋をたを樹の中は拵んで。まゝ瀨窓乃
流た。あるととまゝはと六色男の己惚が
整と拵て。うららん。此は香樓み河の街
を申の町の花ざううは。西の法沙も北へ
を。と。ながめが。あけ。も。若。續。く。見
ん。地。を。せん。死。と。海。は。う。り。拵。ハ。地。を。知

の上東の地ありてあぶさるる忠度も
 死とあるトの早ま一べ張や大ざいの鼻はなへく
 娼妓あしうらんの花はなの帝てい和わ不ふ肺はいつくのくしし着きの
 この死しとくをけば先をなとまつて可
 る。ふこ持もちあと假かり鼻はなとひこつ色いろがい
 志しやの彩さい造ぞうとなんでなると後よおいん
 若わかの鼻はな色いろとよんであるひの鼻はなのさ死しは
 あらいあるひの鼻はなをあげてめてなます。
 二

抑おさ鼻はなのあ。牡丹ぼたんがくきのおいえようひ。
 松まつ振ふをなのあ。あつくる月つきてあととちく鼻はな
 のひやゲ一い假かりといも今の威光かこうよなると
 今いま鼻はなまのとうのめのも。鼻はなと地まつ
 及および今をあらういづれ死の名どころあらう。
 さうらうひき一いたよ一い系けいの海生うみにあらう。
 一いく鼻と唇や火とり一いごろ。鼻はなをあらう
 ちらうの死しといはなるこうぐとなる一

つるハ後ちゆうふられの足取どんみ梅うめ

夜真

廿十余のしゝをいづつやな一入が小子を
あいのたうこの早らうでうめんのだとう中
づいの人からをであうとして大男しく入る
こ入はまをめ入きくらやとこのことめりち

仁

木たぐりのひんるのしるむすこらぶ
ゆまきつむぎの小そそらるるこの早
これをもとくくろくはまらうそわくが
ぞくあそ女のおりいつくいろおとこ

やまき

仁こころひとりのおむ仁日さう

大まふよひま〜善やそ府あるこむつ

あぐくおません孫夜あれとおるトこ下

あちあまのつあ仁んはあまあうさうん

きんあとるさう〜ようまうげさまうは

こぐあわらうあぐくおません孫夜イヤそれ

大目しひるま〜まお子孫があまの村

まあまあひん〜あまあらうてあまの

さあへあらうあ〜まあてあらうあらうあ

もあらうあまあらうあ〜もあまあらうあらうあ

いあまあらうあ〜あまあらうあらうあ

みげがしるれいふのうたがやよぶくぬる
まらうのちうもたらぬまはあみ^{よた}あまの
とくに^{とくに}唐松^{ヤマト}あまの
よくお出なれしとラヤ^{ヤマト}にささんくおひささう
おざるふと^{唐松}おのんとあく^{トシ}
おんよあやぎぬさんへどもでござり^{唐松}
いつそおあんとく^{まじきお}いとうておよろてなう
おのぞるん^{まじきお}おとづけとぞふおつ

おとく^{まじきお}おのんとあく^{トシ}
おんよあやぎぬさんへどもでござり^{唐松}
いつそおあんとく^{まじきお}いとうておよろてなう
おのぞるん^{まじきお}おとづけとぞふおつ

大門のうら
よう

ありとくさるわてんぐれ。なユウきさん。さうらの箱
火とくさるわてんぐれ。なユウきさん。さうらの箱
よりうアあのうーとらけてる。おらんをまら。
あれがめんどうのきまて安ど吉しく。ア又
あんどまあどせ吉ヲぐぶろのあさまア
あんどあさまアゆきぞ。さうゆくといひそふ
るあさまで吉それよりうア。あのまもで吉
とらいてる。がらと見えまし。あてきよよく吉
てらせ吉ヲ又うむているゆつがあくとさるが

あんのこアア秘。吉けんよゆべんとまらけ
ちんぞとらふりので。されはさうの吉
にぞ吉はさるわてんぐれのわを吉はさるわてんぐれ
吉けんよゆべんとまらけ吉けんよゆべんとまらけ
吉けんよゆべんとまらけ吉けんよゆべんとまらけ
たきややく。さうゆつめゆとあやするて
つるの吉ヲきさんく吉けんよゆべんとまらけ
吉けんよゆべんとまらけ吉けんよゆべんとまらけ

おろろろ孫へ着せどもけあげやる

こぞん。おとよめきや トまはるゝとらふとせ

あてがひにふくよまらる おとよめきや あつて入る お 今 あ

やぎぬさんよおちろろろ こよひ

飛おちさんよ。おひるんせん あつて

孫へとがおぼろいさ あつて

てお出るん あつて

おとよめきや あつて

のつてまておらん入し あつて

おちさんのお あつて

あつて

あつて

おちさん あつて

さんのお あつて

あつて

あつて

どやほごーとされたいがうらむ。やんこ
さんごち
三々同とせーやんこ。うらむんまき
又中らうれやん。あぶきあれるんまき
院 っく。まもあぶきあれるんまき
されや。まきうらむんまき。あぶき
そんまきうらむんまき。うらむんまき
あまん。院 じやあぶきうらむんまき
びのうらむんまき。うらむんまき。うらむんまき

コリヤア 院 ぐのむんまき。まきうらむんまき
院 じやあぶきうらむんまき。うらむんまき
なれ。まきうらむんまき。うらむんまき
うまき。院 じやあぶきうらむんまき。うらむんまき
あま。院 じやあぶきうらむんまき。うらむんまき
まき。院 じやあぶきうらむんまき。うらむんまき
まき。院 じやあぶきうらむんまき。うらむんまき
まき。院 じやあぶきうらむんまき。うらむんまき
まき。院 じやあぶきうらむんまき。うらむんまき
まき。院 じやあぶきうらむんまき。うらむんまき

このまゝに書いてあるが、（あま）あつた。あつてしむ
 さぞ。まゝしてはくまじうくせ。[わ]るがらん
 まゝに[流]すか、そのまゝ。こゝろのおまへ。
 あれが晦日（こゝろ）が安楽（あんらく）せうらぞ。[き]よくあつ
 せきよりんが。[玉]さうしんまんのまゝかへり
 かんま。教（おほ）とんてあつてまゝ。あうしんく
 りのいせん。[流]るまが。あうしん[玉]とひげ
 のあつて。いゝ。いゝ。あつて。さう。あつて。あつて。
[流]

おあつちの。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。
 かんまの。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。
 り。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。
 は。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。
 よめせん。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。
 や。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。
 [流]ボシ。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。
 後（あう）の。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。あつちの。
（あう）

おめさんごちや。ア。各日ごとく。お体ヤまこ
 かんトは日あんごうとこととる。仁コリマア。ご
 せいは孫や。ごちや。仁中。中。ご
 お出なるんせん。仁そのア。はまら。お
 今。あやぎねさんのおう。又。あやぎね
 けうら。おめさん。ア。ちや。まうて
 おて。おん。れ。仁ト一あはつて。ご
 仁ト。あ。ひ。あ。や。ぎ。ね。さん。も。で。ぶ。お。あ。ん。む。

う。い。ち。お。り。せ。い。ご。め。も。あ。め。さ。ん。が。
 お。い。で。な。ん。ご。う。の。と。お。ぎ。ん。せ。う。孫仁
 ち。二。ト。ら。つ。た。う。り。よ。ま。き。あ。る。の。そ。う。じ。と
 一。の。つ。は。西。ま。ん。ご。う。と。こ。う。し。ん。ら。い。げ。仁と。み。ご。ん。や。
 の。め。ら。い。で。孫。や。よ。コ。リ。マ。ア。お。や。ま。ま。ご。う。お。や。ら
 い。せ。う。今。よ。あ。出。な。ん。ま。ご。う。と。ト。ワ。つ。つ。あ。ん
 ごとく。大。入。な。も。大。と。の。れ。て。あ。て。が。ひ
 ぎ。ご。う。ご。い。ま。ま。り。て。出。て。ゆ。く

○轉句

仁四。い。の。ん。ご。め。あ。や。ら。よ。う。仁ご。が。い。と。し。ぬ

うききりやう仁をひとつひむちのたしとてまじりて

老仁たまさん。あまやうのでもあつらいゆる絲

ト仁をひとつひむちのたしとてまじりて

あつらいゆる。さうのでもあつらいゆる。

まうのでもあつらいゆる。

であつらいゆる。

さんせん。あつらいゆる。

あつらいゆる。

まうのでもあつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

仁をひとつひむちのたしとてまじりて

仁たまさん。あまやうのでもあつらいゆる絲

仁をひとつひむちのたしとてまじりて

あつらいゆる。さうのでもあつらいゆる。

まうのでもあつらいゆる。

であつらいゆる。

さんせん。あつらいゆる。

あつらいゆる。

まうのでもあつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

あつらいゆる。

こゝろおひれなれしトにさうと日とれ あや結まね
さんしやの仕合なのりんごね 田のむせ入 田あめ
さんのようあおとこめ。おれられておまんま
く田まおしぐよありのよままれと
とつて仕合なのり 田あめさんのよあな
い田あめさんのあや結まさんの
さぞうれーんといふさめいふいふいふ
のよトまめのうまととぞとあひめとと
田あめさんのあや結まさんの

又お真さんがういふさめいふいふいふ
くようしぐうれらくく 考あめさんの
まあくしのトまめとあや結まさん
どのういふさめいふいふいふいふ
これどよま トまめとあひめとと 考あめさんの
いあめんといふさめいふいふいふいふ
あらんん。ちどりてあめさんのあや結まさんの
こしくしやあめんよのあめさんの

コトハシハシヤニ [三] アニク [三] ドレカとちつと
いちぢりてはくろく [一] せや [一] ト志がうつひてよ死
とまろくあつとくが

作者曰 巧く女をうぐるらぶがりあるいぢりま [一]

○合句

あやぎねへあはらよてや [一] まよとの内 [一] せう [一] せう [一]
こりのおくろくは [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]
くろくは [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]
志のいあ [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]

采新夜里 そで [一] せや [一] じれく [一] せや [一] せや [一] せや [一] せや [一]

くろく [一] せや [一] せや [一] せや [一] せや [一] せや [一] せや [一] せや [一]

は口有と [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]
まの [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]

のめ [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]

と。コウ [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]

じれく [一] せや [一] せや [一] せや [一] せや [一] せや [一] せや [一] せや [一]

ひよ [一] と [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]

のよ [一] ひ [一] と [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]

コバ [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]

夜 せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一] せう [一]

トくをこがしの川 さまをらうくくの。がんさるよ。大
 づかろういざい
 るんよ。ちやちやと。あかまのひのいしりふ。
 おどろくとちどろんでるせや。表のひそまよ。あつて
 志ますなんーな。表のりや。金のまよく
 りののがあわしーひや。ひよんこわ
 なるひせんよ。トちひあひし。よしく。まこなれ。
 ちんあよ。表のまきぐんがむま。まぐくあ
 ちんあやれまん。金のあひまのさる備さん

だよ。トダくこがし。表ののま。あらちして
 りののがあわしーひや。ひよんこわ
 なるひせんよ。トちひあひし。よしく。まこなれ。
 ちんあよ。表のまきぐんがむま。まぐくあ
 ちんあやれまん。金のあひまのさる備さん

表のちんあやれまん。表のまきぐんがむま。まぐくあ
 ちんあやれまん。金のあひまのさる備さん

のみ。表のちんあやれまん。表のまきぐんがむま。まぐくあ
 ちんあやれまん。金のあひまのさる備さん

トくをこがしの川 さまをらうくくの。がんさるよ。大
 づかろういざい

るんよ。ちやちやと。あかまのひのいしりふ。
 おどろくとちどろんでるせや。表のひそまよ。あつて

志ますなんーな。表のりや。金のまよく
 りののがあわしーひや。ひよんこわ

なるひせんよ。トちひあひし。よしく。まこなれ。
 ちんあよ。表のまきぐんがむま。まぐくあ

ちんあやれまん。金のあひまのさる備さん
 表のちんあやれまん。表のまきぐんがむま。まぐくあ

ちんあやれまん。金のあひまのさる備さん
 表のちんあやれまん。表のまきぐんがむま。まぐくあ

今うそくすしさをト夜さへ入出てけ。その本母をさう
 まごくーてうけとま。は田あやまぬ
 ちつはめちままのむらりたさうらぐ。白いうちへくけりしなと
 うらぐ。くままが十七八のつがごのむららうちうちのよやど
 きるれ。るねすのま。そらくと
 ざーまをさうま。よふと人のま。さう

あや結

よくすまてお
 かんなれ。あかんさんよあさうてて。はくぬよ
 とぐれ。こちあや。おぎんせん。田あんをくさるすと
 きして。お。いも。大ま。あん。さうら。が。よ。あ。る
 ひま。ご。む。さ。い。ま。こ。め。る。さ。く。つ。な。ら。ま。ん。や。せ。る
 ま。る。い。そ。の。さ。く。つ。あ。ら。が。と。ん。ご。ち。ん。な。い。さ。い

あやむらじのトま。あやむらじのま。あやむらじのま。
 むんじらめ。あやむらじのま。あやむらじのま。
 いせん。あやむらじのま。あやむらじのま。
 まあやむらじのま。あやむらじのま。
 あやむらじのま。あやむらじのま。
 むよあやむらじのま。あやむらじのま。
 せんじら。あやむらじのま。あやむらじのま。
 いらん。あやむらじのま。あやむらじのま。

のよおのひをせしておらんまを入仁ソリヤアヨリ
 ちもそのいとういとう。おやくよくううらな
 せよぶもあんとてちう録入仁あうそよ
 てもそよのりておらんまを入ア。それが
 じようはあう仁か目
トとまうらひ
てまじり
トソリよせてあひさまう
はヨカリんあやほてを
 おれそあんざんまを入ア。録今あまを
 さんがいらをとおらんまを。おねさんとが

う入。ううしておらんまを。それよ仁
 さまんとよんでいとうらんまを入ア。録
 さまんのおりせまを入ア。仁さまんが入ア
 なれちやアヨリよおまを入ア。そつとそよ
 ちておいられろ入ア入どほをん入ア
 のご入仁どほをのざう入アを今竹さくえん
 がそよちりせし入ア。どよでも仁さまんと
 ちまうさまんが入ア入まを録ておれしこととく

うきまろさんいろでと色るゆであざんまを録仁十ア二
とんごんと仁ゆんはあきれも志のせんお
ゆんさんもおんまろやあざんまぶつ又るま
さんもひごろをゆまきくまるおもあやせん
うユリヤアこのがんぢやアまきふせんよ仁
まそんるよ。ひわろこまア録仁はあまさん
ゆんもあう。どほせてるまさん。そまゆて
とまきるゆん仁のゆまやあてまア

まろ録仁はあまさん。あまさん。あまさん。
ゆんもあう。どほせてるまさん。そまゆて
とまきるゆん仁のゆまやあてまア
まろ録仁はあまさん。あまさん。あまさん。
ゆんもあう。どほせてるまさん。そまゆて
とまきるゆん仁のゆまやあてまア
まろ録仁はあまさん。あまさん。あまさん。
ゆんもあう。どほせてるまさん。そまゆて
とまきるゆん仁のゆまやあてまア

あつせんヨリつちうア。さきせんれいさきめん
かざんまうしう。よまはるなるこのことちいし内ちいしに
そよちうしんをまつさんていつていざあき
せんちうしんがあまのてあぐらウチ信と
やでちざんまのりのこと。ちりせんも。まうび
とんちざんまをいア。でまきせんよはは
おれまうけのまうしう。そよちうつてちざんま
仁何のいんまうしう。それらちりが。せんま

おのよるし。そうしん。まきせんア。そのいん
ひりうしう。それでよろろみ仁まきせん
ア。まきせん。いんまうしう。それらちり
りてまきせんも。ちりまうしう。まきせん
まきせん。ちりまきせん仁ちりまきせん
糸へかんと。のりまきせん。まきせん。まきせん
まきせん。まきせん。まきせん。まきせん
まきせん。まきせん。まきせん。まきせん

おめいさんこそ。おうくおめいひるんきやうが。
ヨウちやア。こらまぢぢのうれいことア。お
さんせん。これうくおめいさん。こらうてあ
うきうう。わくどくそおはなれ。ににばせて
ころきと^{あま}とみしてさいへつて^ににばせて
ものつよの病人^{びやうじん}と^{あま}わんよ。あんおんのこと
いしゆ。さうをうとせれてままうじしゆ。
お^い医^や者^{しや}さんごよア ト^いづ^くこ^よは^なと
ひううう

おめい^{おめい}の^のお^おき^きに^に苦^く累^{らい}の^の身^みと^と志^し
を^を患^わ疾^ぢは^はゆ^ゆる^るま^まを^を出^でせ^せる^る色^{しき}男^{おとこ}の
因^{いん}果^がの^のは^はく^くを^をひ^ひに^に抱^{いだ}れ^れぬ^ぬさ^さが^がな^なや。
お^おら^ら ^{きこちぢぢ}ヤ^ヤレ^レホ^ホ。氣^き流^{りゅう}遠^{えん}あ^あう^うら^らさ^され^れて^て榮^{えい}耀^{ぎょう}は
海^{かい}の^の川^{がは}に^にお^おと^とが^がう^うは^はに^にあ^ある^るく^く根^ね細^この^の大^{だい}
骨^{こつ}に^にお^おて^て海^{かい}の^の烟^{えん}合^{がっ}し^し。後^あ良^らが^が深^{しん}切^{せつ}
う^うう^う唐^{たう}松^{そう}が^が仇^あ恨^{げん}の^のう^うん^んさ^さお^おは^はま^まあ^あち
の^のら^ら。窓^{まど}の^の鳥^{とり}を^を毛^けと^とあ^あく^く掛^かく^く。と^とあ^あ後^ご

6/4

辨

今



遊治帛

後篇遊治帛

十編全書著
全一冊出来

日本之通又粹唐土之遊治帛也但
仍昔摺曲又少年俠客行如是命矣

へん きりり
等曲の曲歌の曲名。何とぞはよ
りきりり

三十六



45433

